

1997年度 学位論文紹介

今年度から過去3年度に溯って紹介するように変更したため、学位を授与された(または、学位授与機構に論文を提出した)年月も併記する。

北海道大学大学院理学研究科

博士論文 1996.12

- 本田明治 The Influence of the Okhotsk Sea-Ice Extent on the Atmospheric Circulation
(オホーツク海の海水域変動が大気循環場に及ぼす影響)

東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻

博士論文 1996.1

- 三上正男 Bulk Parameterization of Fluxes and Energy Budget over Various Land Surfaces
(多様な地表面上のフラックスのバルクパラメタリゼーションと熱収支)

博士論文 1997.3

- 徐 健青(Xu Jianqing) Seasonal Variations in the Heat and Water Balances for Non-Vegetated Surfaces
(裸地面の熱収支・水収支の季節変化)

- 松島 大 Parameterizations of the Heat Exchange of the Land-Surface Processes
(陸面過程の熱交換に関するパラメタリゼーション)

修士論文 1996.3

- 清水隆生 水蒸気輸送量の直接測定
高橋雅人 移流時の有限小水面からの蒸発

修士論文 1997.3

- 西田昭伸 凍土の発達と積雪の熱収支計算
本谷 研 流域積雪水量・流出量・河川水温の季節変化

修士論文 1998.3

- 大寺浩史 大気・森林間のエネルギー交換の研究
小澤淳真 乱流直接測定による潜熱輸送の普遍定数に関する研究
斉藤篤思 積雪のある森林域における分光反射特性

- 道広有理 数値モデルを用いた熱的局地循環の鉛直スケールに関する研究

筑波大学大学院地球科学研究科

博士論文 1998.3

- 高田久美子 Modeling the Thermal and Hydrological Impacts of Frozen Ground on the Climate System.

東京大学大学院理学系研究科地球惑星物理学専攻(地球惑星物理学教室)

修士論文 1998.3

- 新保明彦 南半球対流圏における傾圧性波動擾乱の活動の季節変化
佐藤 男 熱帯のスコールクラスタにおける雲の微物理過程の役割とモデリングに関する研究
高谷康太郎 A New Formulation of a Wave-Activity Flux for Stationary and Migratory Eddies on a Zonally Varying Basic Flow
後藤 進 積雲対流の組織化に対する鉛直シアの効果に関する研究
相木秀則 海洋中層における規則的な渦形成

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

修士論文 1998.3

- 谷本浩志 ガスクロマトグラフー負イオン化学イオン化質量分析法による対流圏PAN濃度の測定手法の開発

防衛大学校地球環境科学(地球宇宙科学)専攻

修士論文(学位授与機構より) 1998.3 提出

- 益田和俊 冬季北陸沿岸における寒冷前線に伴うガストに関する研究

京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻

博士論文(課程博士) 1998.3

- 青木博松 南半球冬季対流圏循環の年々変動
寺尾 透 Studies on Quasi-Stationary Rossby Wave Trapped in the Westerly Jet in the Northern Hemisphere Summer
(北半球夏季における偏西風帯にトラップされた準定常ロスビー波についての研究)

<p>荻野慎也</p> <p>山根省三</p> <p>修士論文 1998.3</p> <p>安住美恵子</p> <p>楠根高志</p> <p>高村陽子</p> <p>田口正和</p> <p>武富 悟</p> <p>Tri Wahyu Hadi</p>	<p>Observational Studies on Gravity Wave Activity in the Lower Stratosphere: Latitudinal and Temporal Variations over Japan, West Pacific Ocean and East Indian Ocean (下部成層圏重力波の活動度に関する観測的研究: 日本および西太平洋・東インド洋上空における緯度・時間変化)</p> <p>大気循環の変動と予測可能性についての理論的・数値的研究</p> <p>シアー不安定による重力波の発生</p> <p>A Case Study of GPS Tropospheric Refraction (GPS ネットワークから導出された対流圏遅延量に関する山越え気流を中心とした事例解析)</p> <p>地表付近の気温に関わる放射の影響について</p> <p>東西非一様な基本場におけるプラネタリー波の鉛直伝播</p> <p>砂漠とオアシス境界での水蒸気移動の観測</p> <p>L-Band Boundary Layer Radar Observations of Kelvin-Helmholtz Instability in the Shear Flow</p>	<p>Induced by Tropical Sea-Breeze Circulation (熱帯域海風循環によるシア流におけるケルビン-ヘルムホルツ不安定の境界層レーダ観測)</p> <p>対流雲による鉛直向き物質輸送に関する数値的研究</p> <p>Observations of Turbulence Parameters with Boundary Layer Radar in Indonesia (境界層レーダーによるインドネシアにおける乱流パラメータの観測)</p> <p>山地地形が海陸風に及ぼす影響について</p> <p>京都のしぐれについて</p> <p>成層圏突然昇温と対流圏循環の力学的結合に関する数値実験</p> <p>High Time Resolution Measurements of Precipitable Water Vapor from Propagation Delay of GPS Satellite Signals (GPS 衛星電波の伝搬遅延を用いた可降水量の高時間分解能観測)</p> <p>大阪府立大学大学院工学研究科 博士論文(論文博士) 1997.12</p> <p>瀬戸信也 大気汚染物質濃度の統計解析</p>
---	---	--



一 覧 表

日本気象学会1998年度秋季大会期間中の託児所斡旋について	742
第1回 CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム	746
(財)国際コミュニケーション基金 平成10年度助成・援助募集	750